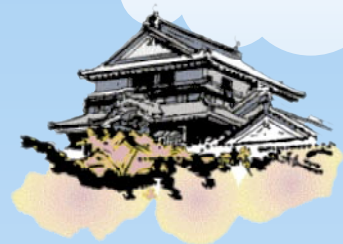


# 防災シンポジウム



## “一人でも多くの人を笑顔に全国に誇れる、わがまち松山”



松山市長 野志 克仁

本日は、防災シンポジウムに自主防災組織関係者をはじめ、多数の皆様の御参加を賜り、誠にありがとうございます。

松山市では、「誇れる」まちの安全・安心で笑顔に」を基本政策の一つに掲げ、「災害に強いまちづくり」の実現に向けた事業に積極的に取り組んでいます。

こうした中、災害時に児童・生徒の安全を守るため、昨年度、市内全84小中学校で合計163名の教職員の防災士を養成しました。さらに、今年度は小中学校教職員44名に加え、幼稚園27名、保育園5名の新たな防災士が誕生しています。

私自身も、防災の知識や経験、意識を高め、本市の防災にいかしたいという思いで、昨年8月に防災士の資格を取得しました。平成25年12月末現在、本市全体の防災士数は1,928名で自治体別では日本一を堅持しています。

今回のシンポジウムでは、東日本大震災の被災地である釜石市での自主防災組織活動の御紹介や、全国の防災士の顕著な活動事例を御紹介いただくことにしており、パネルディスカッションと合わせて、御参加の皆様の方の防災意識の高揚と防災活動の促進に更なる成果が得られるものと期待しています。

今後も、住民と行政がそれぞれの役割分担の中で、自主防災組織の自発的な防災活動を促進するとともに、意識の高揚を図りながら、より質の高い自主防災活動が行えるよう、皆様とともに地域防災力の向上に積極的に取り組んでまいります。

終わりに、このシンポジウムを契機として、自主防災組織がますます御発展されますとともに、防災士の皆様の方の更なる御活躍、御健勝を祈念申し上げ、私の挨拶とします。

●日時 平成26年1月19日(日)9時～12時15分

●場所 松山市総合コミュニティセンター カメラリアホール

共催：松山市・松山市消防団・松山市自主防災組織ネットワーク会議・松山市女性防火クラブ連合会  
NPO法人 日本防災士機構・愛媛大学防災情報研究センター

後援：株式会社防災士研修センター

# ■プログラム

12:00~13:30  
コミュニティプラザ  
防災物品展示 ダイキ(株) レンゴー(株)  
飲食物提供 松山市女性防火クラブ連合会

9:00 開会 ~オープニングセレモニー~

ぼうさいダック~ぼうさいのうた~松山市立石井幼稚園

9:05 第1部 開会式・表彰式

9:30 第2部 3.11における自主防災活動紹介

荻野 哲郎 岩手県釜石市大渡町自主防災会会長  
全国防災士活動事例紹介

松尾 好将(埼玉県) 演題 真に災害に強いまちづくり実現を目指して!

尾身 誠司(新潟県) 演題 新潟県中越地震の記憶「災害時に求められる自主防災活動」

松山市自主防災組織の活動事例

中西 一 粟井地区自主防災連合会会長

川野 茂美 桑原地区自主防災組織連合会会長

11:15 第3部 パネルディスカッション

命を守る~住民の防災意識を高めるために今何をすべきか~

コーディネーター 矢田部 龍一 愛媛大学防災情報研究センター長

パネリスト 蔭原 政徳 松山市自主防災組織ネットワーク会議代表理事

高岡 さおり 松山市堀江地区防災士

芳之内 淑子 松山市女性防火クラブ連合会副会長

澤上 幸子 NPO法人えひめ311副代表

12:15 閉会

## 出演者紹介 (敬称略・順不同)

### 3.11自主防災活動紹介



荻野 哲郎  
(おぎの てつろう)

釜石市大渡町自主防災会  
会長  
平成7年、岩手県で3番目、  
釜石市で初めて結成された  
自主防災組織の会長として  
8年目を迎える。避難所に指  
定されている釜石小学校内  
に備蓄倉庫を造り、3.11  
の時に有効活用される。東  
日本大震災の前から、過去  
の津波の教訓を忘れないよ  
うに、毎年3月3日には避難  
訓練を実施。

### 全国防災士活動事例紹介



松尾 好将  
(まつお よしまさ)

昭和14年生まれ、大分県  
出身。  
青森県警察本部長、警察  
庁捜査第一課長等を歴  
任。  
平成15年防災士資格取  
得。日本防災士会の設立・  
同活動理念の制定に尽力  
し、現在、特定非営利活動  
法人日本防災士会の副理  
事長として全国5000人  
の防災士会会員を指導し  
ている。



尾身 誠司  
(おみ せいじ)

新潟県十日町生まれの71歳。  
昭和39年、新潟地震の年、地元消  
防署に勤務。  
平成15年、防災士資格取得。  
平成16年「NPOセーフティネット  
ぼうさい」を設立。代表理事。  
平成23年、長野県北部地震に活  
動。耐震診断士として住宅耐震診  
断・改修に携わり新潟県耐震改修  
促進協議会の顧問。  
平成24年まで新潟県中越地震復  
興基金評議委員会委員。  
平成18年、日本防災士会新潟県支  
部設立。現在副支部長・事務局長

### 松山市自主防災活動事例



粟井地区自主防災連合会会長  
中西 一  
(なかにし はじめ)



桑原地区自主防災組織連合会会長  
川野 茂美  
(かわの しげみ)

### パネルディスカッション

#### コーディネーター



矢田部 龍一  
(やたべ りゅういち)

1952年(昭和27年)生まれの  
62歳。  
京都大学工学研究科修士課  
程を修了後、愛媛大学助教授  
などを経て、2011年(平成23  
年)愛媛大学理事・副学長、愛  
媛大学防災情報研究セン  
ター長、2012年(平成24年)  
愛媛大学社会連携推進機構  
長を務める。  
博士(工学)(京都大学 地盤  
工学)取得。

#### パネリスト



松山市自主防災組織  
ネットワーク会議代表理事  
蔭原 政徳  
(かげはら まさのり)



松山市堀江地区防災士  
高岡 さおり  
(たかおか さおり)



松山市女性防火クラブ連合会副会長  
芳之内 淑子  
(よしのうち としこ)



NPO法人えひめ311副代表  
澤上 幸子  
(さわがみ ゆきこ)